

# 2022 教室・講座・イベントの成果報告

主催者名	環境・エネルギー学校派遣事業 ～かながわ環境教室～		
題名・副題	「動物かくれんぼ」保護色実験と食べた生きもの調べ(食物連鎖)		
月日・時間	2022年11月8日(火) 10:35~12:05 (90分)		
開催場所	三浦市立南下浦小学校(6年生)		
部会・講師名	自然環境部会 武澤研二	参加数	15名
		講師数	6名

## 写真・画像



授業風景:クイズ「スズメ何羽いる？」



オリジナル保護色の魚をサンゴ礁に隠す実験



みんなで食べた生きものまとめ



食べた生きものを発表

## 成果解説

この授業は、子どもたちが保護色の働きを通じて生き物のつながりを理解し、食生活が多様な生物資源に支えられていることへの気づきを促すのが狙いです。

動物が保護色で餌と天敵から身を隠すことを、クイズを中心に楽しく学びました。紙製ミニこいのぼりを工作してサンゴ礁の背景に隠す実験で保護色の働きを実感しました。自由に塗って自作の保護色効果も試しました。手に持った輪がどこまで見えるか、自身の両眼(エサを狙う)と片眼(天敵を警戒する)の見える範囲「視野」を測る実験を行いました。両眼と片眼の視野の広さが捕食者と被食者で、動物の暮らし方で異なることも学びました。食べた生き物調べ「きのうなに食べた？」では、実際に自身が食べた料理の食材とその元の生物種を調べました。グループ単位で、みんなが食べた生き物(生物種)を、陸海の動植物と微生物・キノコの5群に分けてまとめ、結果と感想を発表しました。食品ロスの世界と日本の現状や本授業に関連のSDGs目標を易しく解説しました。最後に「私たちは様々な生き物を食べています。私たちの命と健康を支える生き物に感謝し、好き・嫌いなく、残さず大切に食べましょう」とメッセージを伝えました。

授業アンケートでは全員が「楽しい」と回答、小学6年生らしく食品ロス、SDGsに高い関心が伺えました。